

## 審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和5年度 第2回松阪市図書館協議会
2. 開 催 日 時	令和6年3月12日（火） 午後2時00分～午後3時15分
3. 開 催 場 所	松阪図書館 2階 講座室
4. 出席者氏名	（委 員） ◎ 辻淳子、○ 中村陽子、阿波扶美子、池田和香、遠藤佳静、鈴木美保、西岡裕子、濱田和男、別所輝夫、横山みち代 （◎会長 ○副会長）  （事務局） 松阪市図書館館長（株式会社図書館流通センター） 松岡 生涯学習課長 池田 生涯学習係長 林 生涯学習係主任 藺部 生涯学習係 萬濃
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0人
7. 担 当	松阪市教育委員会事務局 生涯学習課 TEL 0598-53-4396 FAX 0598-26-8816 e-mail ikig.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項・議事録

別紙

## 令和5年度 第2回松阪市図書館協議会 議事録

○開催日時：令和6年3月12日（火）午後2時00分から午後3時15分

○開催場所：松阪図書館 2階 講座室

### ○議題

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 協議事項
  - ①令和5年度松阪市図書館概況について
  - ②令和5年度事業について
    - ・「第11回松阪市図書館を使った調べる学習コンクール」実施報告書
    - ・「第9回ビブリオバトルまつさか大会」実施報告書
  - ③意見交換・提言
4. 閉会

### ○出席者氏名

【委員】辻淳子、中村陽子、阿波扶美子、池田和香、遠藤佳静、  
鈴木美保、西岡裕子、濱田和男、別所輝夫、横山みち代  
計10名

【事務局】松阪市図書館館長（株式会社図書館流通センター） 松岡  
生涯学習課長 池田  
生涯学習係長 林  
生涯学習係主任 菌部  
生涯学習係 萬濃

## ●会長あいさつ

会長：皆さん、2回目の図書館協議会です。ご出席いただきありがとうございます。久しぶりにたくさん雨が降りまして、三寒四温といますが、本当にいい言葉を先人は残してくれたと思います。今日はいろいろな図書館についてこれからの意見をいただければと思いますので、最後までよろしくどうぞお願いいたします。

## ●協議事項

### ①令和5年度松阪市図書館概況について

館長・事務局：令和5年度松阪市図書館実績について、ご説明します。

(資料に基づき、館長・事務局から説明

内容…図書館利用統計、資料区別貸出冊数、利用状況、定例行事・特別行事、テーマ・展示本コーナー、飯南・飯高地区貸出統計、電子図書館実績)

委員長：資料を基にご説明いただいたが、何かご質問等ございませんでしょうか。いろいろな行事の中にもご参加いただいた方もあるかと思っておりますので、参加の様子だとかお知らせいただければと思います、ご意見いただける方みえませんか。

委員：童心社による紙芝居講座に参加させていただきました。紙芝居のめくり方だとかより細かいことまで教えていただいたので、きいてそれをみんなに広めてという形ですごく良かったと感じました。先ほどまた今後もこう言った企画をされるとのことなので期待しています。

委員：資料を見せていただきながら、色んな世代にわたって色んな工夫で図書館の方へ関心を持ってもらえるようにされているというのが、よくわかります。人数がどうこうという問題はあるけれども、それ以上にいろいろな形で関心を持ってもらえるようにしているというのが、とても意味があると思います。ビブリオバトルに今年も出させていただきましたが、大人と子どもを分けていただいたのは良かったと思います。

委員：先ほど館長さんの方から、嬉野図書館は学習スペースを設けていただいたというお話がありました。今まで2階で勉強してみえる学生さんはいたのですが、それを図書館の方へおろしていただきました。スペースは限られてはいますが、図書館の中で学習していただくことで、図書館へきて一冊本を借りようとか、図書館がより身近になったのではないかと

と思います。その方たちが大きくなられて、学生ではなくなったときに図書館へ来る力になるのではないかと思います。普段学生の方や高齢の男性の方が座席をしめられ、にぎわっているのが、コロナあけてから見られるので、そういった方たちが広がっていくとよいなと思います。

委員：子ども向けのイベントで図書館ガチャとかクイズとかそういったお手軽に、予約なしで参加できるイベントがあるというのは、とてもいいことだと思います。人数をみても結構参加されているみたいで、本を読む以外の楽しみがあるというのは、子どもにとってとてもうれしいかなと思います。先ほど委員さんもおっしゃったように、将来の利用者を作るという意味でも大変いい取り組みかなと思います。

委員：そのガチャの機械が再利用できるとよいなと思うのですが、できるのでしょうか。

館長：機械は会社のものですので、いろいろな図書館を回っています。同じようなガチャですが、反省点もあるのでそれを踏まえ、この春もまた違うバージョンで松阪と嬉野と行いますのでよろしくお願いします。

## ②令和5年度事業について

- ・「第11回松阪市図書館を使った調べる学習コンクール」実施報告書
- ・「第9回ビブリオバトルまつさか大会」実施報告書

事務局：「第11回松阪市図書館を使った調べる学習コンクール」、「第9回ビブリオバトルまつさか大会」についてご説明します。

(資料に基づき、説明)

委員長：では今ご説明いただきました、調べる学習コンクール、ビブリオバトルにつきまして何か質問ございませんか。

委員：調べる学習コンクールに中学校が授業の一環で持ってきてくださったとか書かれていますが、これは単年度のことなのか、取り入れてくださった学校がこれからも取り組みを続けていかれるのか、わかれば教えていただきたいです。

事務局：今回三重中学校の作品を多く提出いただきました。社会科の先生が夏休みの課題として出していただきました。来年度についてもこういった

活動を続けていただけるように、よろしければ継続していただきたい、とお伝えさせていただいております。この先生につきましては、ビブリオバトルについても、生徒さんを送り出していただいた経過がございまして、図書館に関する活動についてはご協力いただけるかと思っております。

委員：先ほど皆さんが言われているように、図書館の行事は子どもたちが興味を持ちそうなことで、すごく努力されているのだと、わかっているのですが、こういったことを宣伝というのは、どのようになさっているのですか。

館長：広報と図書館のホームページや館内掲示、あとは松阪ナビの方でもさせてさせていただいております。

委員：宣伝はすごく大事だと思います。宣伝したのとしないのでは集まる人数が全然違います。こんなに素敵なことをやっているのに、もっと集まってもいいのではないかと思います。例えば、学校にそういうことを伝えたりはされないのですか。

事務局：学校については、中学校の校長会等で説明させていただいております。校長会が定期的にございますので、事務局の方から資料をお持ちして、ご説明はさせていただいております。

委員：子どもたちはこういった行事されていること自体、意外と知らないのではないかと思います。宣伝をもうちょっとされるといいかなと思いますので、検討いただければと思います。  
また、前にも話があったとは思いますが、ラジオ体操のような仕組みで、読書を1回するごとにシールをはって1冊集まったら、雑誌の付録やしおりを景品にしてあげるというようなのはどうでしょうか、こちらも考えていただければと思います。

### ③意見交換・提言等

委員：月一回の市の広報の図書館の欄を見ているだけでは、気がつかなくてここにきて会議に参加する際に、びっくりします。飯高のスタンプラリーをしていただいたときに、すぐには結果が出なかったですが、今になって知ってくれる人が増え、図書コーナーをのぞいてくれる人が増えたと司書さんからお聞きしました。図書館関係のイベントをしていただくと、

図書館が身近なものとなり、出入りも増えると思います。

委員：プログラミングや学習会などのチラシは学校へまいてみえるのですか。

館長：保育園から中学校まで、一応図書館だよりは配布させていただいておりまして、そこには載せさせていただいております。出すのが遅かったという反省もあるので早めに告知するようにはしていますが、もう少し頑張っていきたいと思います。

委員：校長先生に伝えても全校生徒に伝わるのは難しいと思うので、お金はかかりますがイベントがありますというチラシを、生徒さんに配った方が効果もあるのではないかと思います。

委員：情報発信というのだけ責めるのではなく、やはり今本離れしている、知っていても無視しているというその数字の方が多いのではないかと思います。本はもういいわという人の方が多く、周知させるという問題だけではなくこちらの問題もあるかと思います。意識の強い人はイベントに出るわけですから、ネットで見ることでもできるし広報で見ることでもできるので、やろうと思っている人は意識して見ると思います。多少強く提供することも大事かもしれませんが、こういった点もあるかと思いました。

委員：学校の方もコンクールがあつて読書感想文があつて、以前よりもコンクール等の数が多くなっていると思います。いろいろなコンクールの中からどれか選りなさいという中では、全部の子どもたちが読書関係にというのは、なかなか難しい状況になっているかもしれません。それからクラブ活動の運動部に所属する子どもたちは、なかなか疲れていると思いますので、本を読みなさいというのは難しいのではないかと思います。先ほど言われたように、たくさん知らせていっても受ける側が、受け入れていくことがなかなか難しいのかなと思います。いろいろな広報の中で一つには、学校に巡回の司書さんが入っていると思います。その司書さんは長くやってみえる方もいて、生徒とのかかわりが深くなっていると思います。そういう方達の声かけが大切ではないかと思います。

委員：今の子どもたちは選択することが多過ぎて、かえってどれもこれも手付かずみたいになっていますが、それであきらめてしまつては、図書館へ

集まってくれないわけですから、そこでどのようにして図書館へ来て本を読んでもらうかというのが一番課題だと思います。司書さんに会う子どもたちというのは図書館に行くことは決まっていると思います。それよりも国語担当の先生が集うようなときにチラシをお渡しする、お願いするというのは可能ですか。

事務局：今回、校長会を通してお願いさせていただきました。そして校長先生から各学校図書担当の先生がいらっしゃると思いますので、学校内に周知はしていただいております。教科別の会議というのはお聞きしたことがございません。

委員：先生の熱意の入れ方にもよって子どもたちへの伝わり方は全然違うと思いますので、子どもたちに均等に先生の熱意が伝わるとよいと思います。あとはいかに親にも図書館へ来ていただけるかがポイントだと思います。

委員：やはり普段の授業の中で、教材に関わって広げていけるかというのがカギを握っていると思います。

委員：いつも協議会での報告でイベント等を知るというお話があります。いま周知の話だけをしておりますが、イベントをした後にどういうことになりましたというのをお知らせする機会が、私たちは今ありますが、他の方はわかりません。ホームページ上に載っているのかもしれませんが、なかなかそれを見にはいかないと思います。次の広告の時に前回どうであったかとか、1個ずつは難しいと思いますが、年に1回でもいいので図書館へいこうみたいなパンフレットに去年こんな行事をやりましたとか一度に見られるようなものがあると、他の人もこんな行事やっているのだなというのを同じように感じられると思います。それをどういった形ですか、広報の1ページをいただいてするなり、1つのチラシみたいにして各自治会の回覧に入れるなり、違う形で報告があってもいいかなと思いました。ビブリオバトルも参加したことはないですが、本当はその様子を映像とかで見てみたいと思います。それは難しいかもしれませんが、ホームページにいくと写真だけでもあれば、中身がわかり面白いかなと思います。

館長 : 報告はやはり必要だと思います。ホームページの方ではさせていただいております。以前には、このような行事をしましたという報告を掲示板のようところで館内に掲示させていただいておりましたので、そちらも復活させたいと思っています。こんな事あるんだというのを知っていたくのも大事だと思うので、またそちらは早急にできればと思います。

委員 : 行事は結構子ども関係が多いですが、紙芝居の教室とかとても良いなと思ひまして、大人の方・一般の方が参加できるようなイベントももう少し増やしていただけたらどうかなと思ひました。以前から話題に出ております電子図書館の使い方の教室であったり、読書のバリアフリーを勉強する講座を開いていただいたりするとよいかと思ひます。

委員長 : いろんなことをしていただいて、急に人数が増えるというのはなかなか難しいかもしれませんが、先ほどの皆さんのご意見の中で、続けていくことや伝えていくことが大事だなと思ひました。またできる範囲でこれからも続けていただければと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

委員 : 先ほど宣伝や PR といったお話がありましたが、私はこどもの城のボランティアスタッフもしておりますが、そこでは年に4回、各小中学校から道の駅まで、3ヶ月の行事予定のチラシを配布しております。学校だけでなく、親御さんにもうまくとりいることができると、子どもを連れて又は連れられて図書館に来るのではないかと思ひます。

委員 : 私は利用者代表として来させていただいておりますが、普段利用するのは松阪でも嬉野でもなく、三雲みんなの図書館コムカルという小さな図書館を利用させていただいております。2週間に1度必ず行くようにしておりますので、普段の様子を司書さんと直接お話しをするほど仲良くさせていただいております。最近の悩みは、場所が天白小学校の中という特殊な場所のせいか、近くの人でも遠くの人でも入ったことがない、理由としては入りづらいということをよくお聞きします。どうしたらよいか考えますが、なかなか良い案が出ず、おはなし会もしてみましたが、あまり反応がありませんでした。乳幼児を連れての方のためにも、ベビーベットを用意したりトイレの案内をしたりもしましたが、やはり入りづらいと意見をいただきます。原因は駐車場が遠いとかもあると思ひますが、何かしたら入りやすい状況にならないかと思ひ、詰まっています。利用者がどんな人が多いかお聞きすると、最近では学習室の代わりに来る



中学生が少し増えてきたとのことでしたので、その中学生に興味を持ってもらえるような、ビブリオバトルを企画していきたいと考えました。

委員長：せっかくこれだけの委員さんがいらっしゃいますので、委員さんが地元の方で近くの方や知り合いの方に声をかけていただくのも一つの展開していく方法かと思っておりますので、皆さんのお力を借りて、図書館のこれから子どもたちが文章にふれる機会がどんどん増えていくような将来の為によろしく願いいたします。

以上 15時15分終了